

横浜・坂本弁護士一家拉致事件

仔山羊の歌 もういちど

手記・日記

坂本さちよ

協力：日本弁護士連合会

坂本堤弁護士問題に関する理事会内対策本部

坂本弁護士と家族を救う全国弁護士の会

神奈川新聞社会部取材班

装丁／長沼辰雄
口絵写真／福田文昭
本文写真／神奈川新聞

こやぎの歌 もういちど
仔山羊

一九九〇年十二月二十五日 第一刷発行

著者 坂本さちよ

発行者 加納将光

発行所 株式会社勁文社

東京都中野区本町三三三二一五

一一六四 振替東京九一一三三二一

電話 東京(〇三)三七二一六四八二(編集)

三七二一三二九一(営業)

印刷所 株式会社 飛来社

製本所 明興製本工業株式会社

定価はカバーに表示してあります

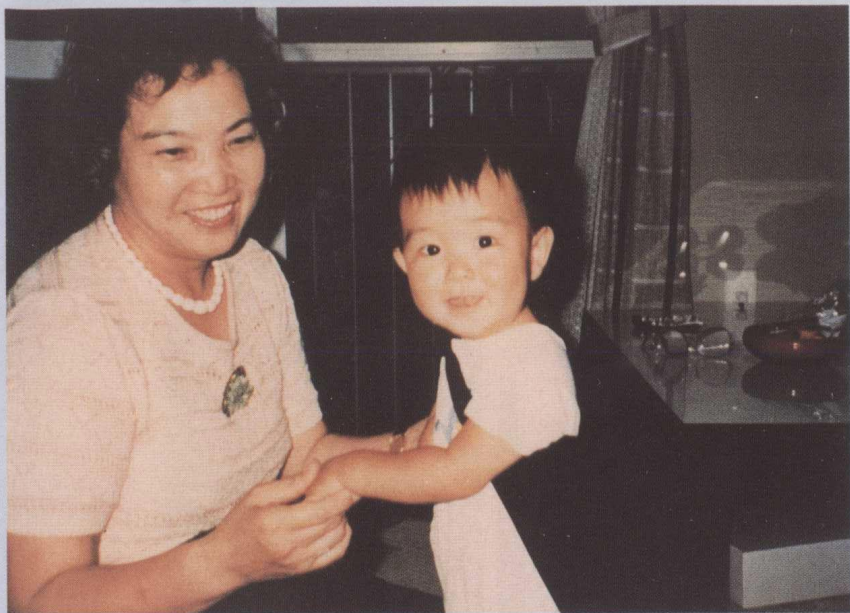
落丁本・乱丁本はおとりかえします

著者と了解のうえ検印を廃します

© Sachiko Sakamoto 1990 Printed in Japan
ISBN4-7669-1341-8 C0095

日本音楽著作権協会(出) 許諾第9071983-001号

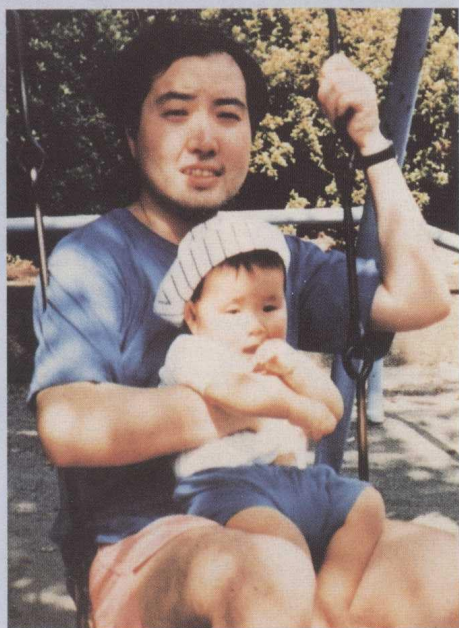




一升餅を横須賀のおばあちゃんとおじいちゃんに
作ってもらい、背負って立った龍ぼう

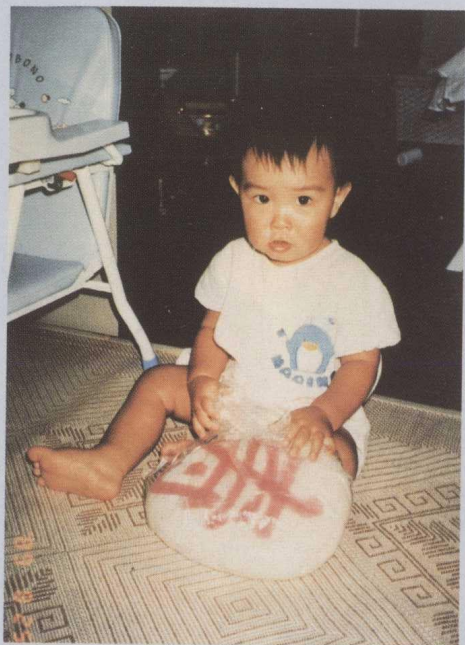


クイーンエリザベスII号乗船の時、船員に
記念に撮ってもらった

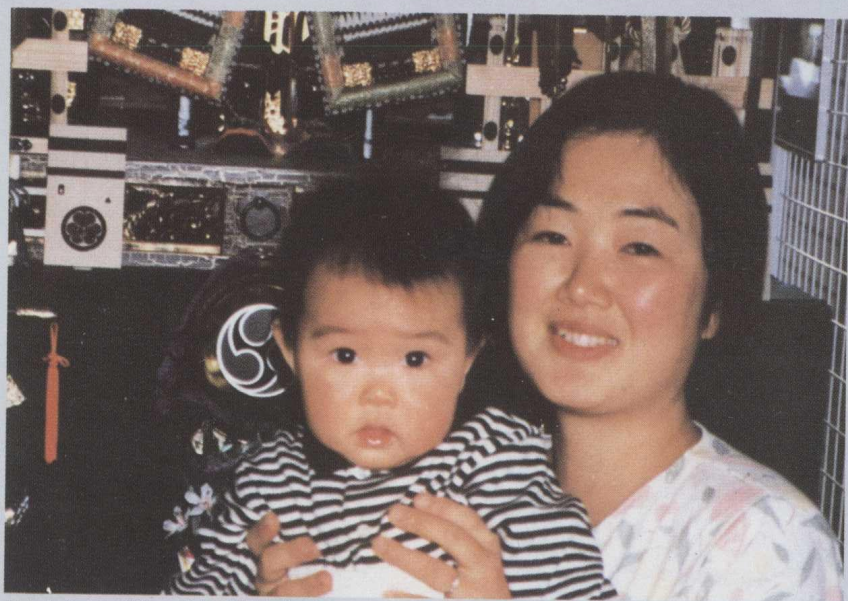


近所の公園で龍ぼうと
休日を楽しむ。堤のメ
ガネをかけてない顔

クイーンエリザベスII号に乗船する一家



一升餅で祝ってもらってご機嫌の龍ぼう

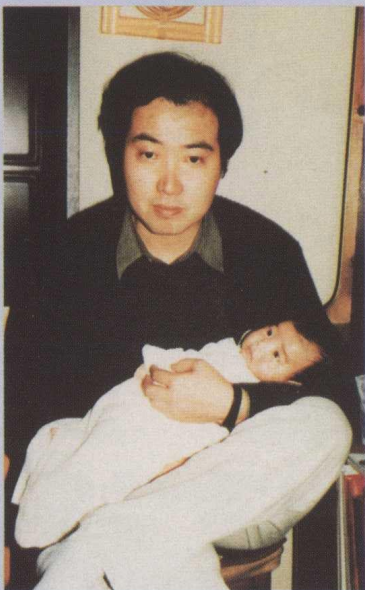


おかあさんと端午の節句を祝う龍ぼう

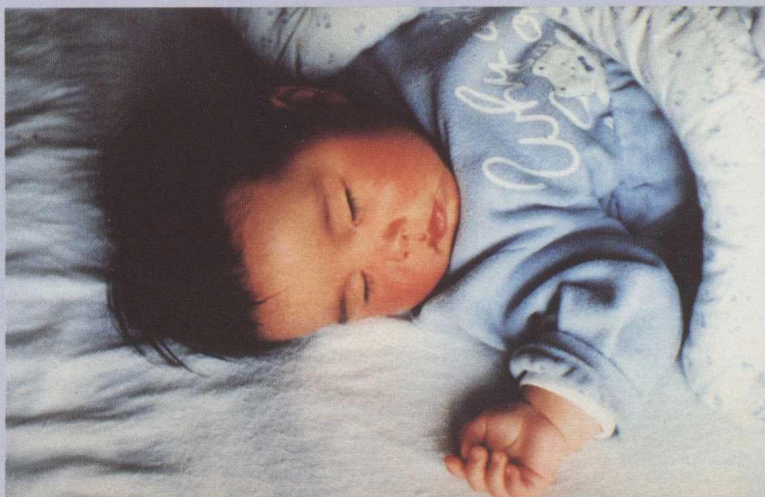


おかあさんに抱かれた幼い
時の龍ぼう

拉致された時、メガネをはずしていたと
思われる



おやすみ、龍ぼう



消えたもの、残されたもの

拉致事件を証明する痕跡

消えたものは子供の布団一式、セミダブルの
布団シート、毛布掛布団、坂本弁護士のパジ
ヤマ。争いの跡を示す鏡台のキズ、移動して
いたテレビなど、室内は様々な不思議な跡を
残していた。

写真提供・福田文昭



坂本弁護士の所属事務所



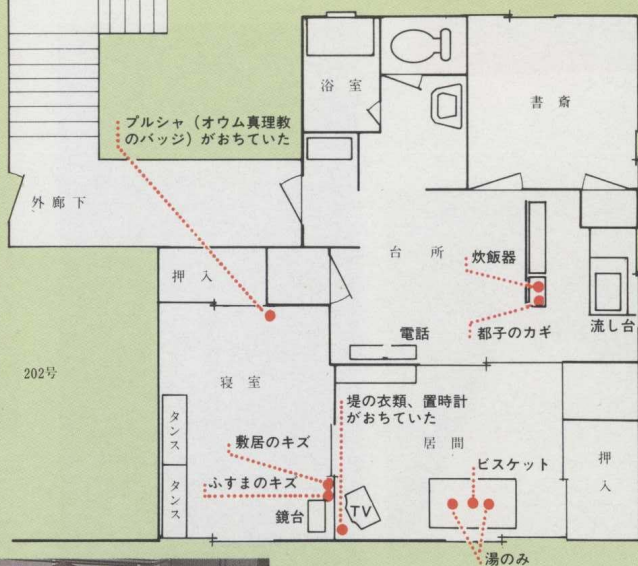
テレビの下の敷物がたわんでいた



居間は一家が今まで居たような様子が残っていた

※現場写真は再現したもの

坂本弁護士の住居(C棟201号)



玄関入口前、龍ぼうのベビー
カーが残っていた



炊飯器にはご飯がかなり残っていて、スイッチは「保温」に入ってた
ままだった



ブレザーの内ポケットには手帳、
11月13日期限の定期券、家と事務
所の鍵などが……



化粧バッグが残されたままの鏡台

外出するなら必ず使う
ママコートとおぶい紐



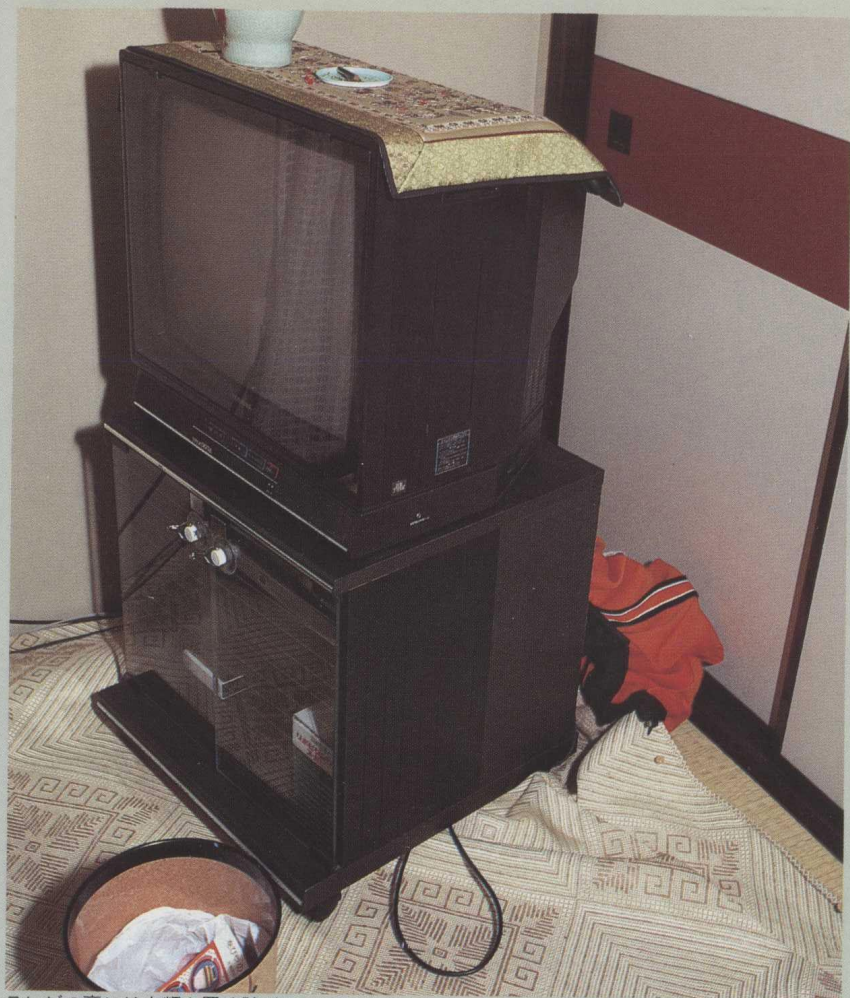
整理されていたおむつ



壁に血痕、ついた時期不明



敷物のピンがはずれてた



テレビの裏には衣類や置時計がおちていた



鏡台の足と敷居に最近ついたと思
われるキズ



鏡台がふすまに強く押されてきた
キズ

横浜・坂本弁護士一家拉致事件

仔^こ山^や羊^{ひつぎ}の歌
もういちど

勁文社

こやぎ 仔山羊の歌

坂本さちよ

龍ぼう

おばあちゃんがお歌をつたつて
あげるね

トンボのメガネは 水色メガネ
青い空を みてだから

みてだから

もう一つね

メエー メエー

森の仔山羊 森の仔山羊

仔山羊走れば 小石にあたる

あたりやあんよが あゝいたい

そこで仔山羊は メエーと鳴く

龍ぼう

元気で早く 帰つておいで

おばあちゃんか だつこして

又、何回でも 何回でも

君の大好きな この歌

うたつてあげるから

”表題について”

龍彦の顔が浮かんできて悲しくてたまらなくなつたとき、龍彦によびかける思いで、この詩を書いてしまったのです。

「めえめえ仔山羊の歌」は、堤が幼かった昔、私が子守り唄のように歌っていたもので、あの子はどんなにぐずつていても、この童謡を聞くと不思議におとなしく寝入つたものでした。

事件の起きる前、私が孫の龍彦と遊んでいるとき、めえめえ仔山羊を歌うと嫁の都子さんが言いました。

「あら、堤さんが龍彦を寝かせるとき、よくそれを歌うんですよ。お母さんから聞きおぼえた子守り唄なのね。親子二代の仔山羊の歌、龍彦が成長して子供を持つようになったら、また歌うでしょうね」

深く、たくさんの思いがこの童謡にはこもっているのです。

横浜・坂本弁護士一家拉致事件

仔山羊の歌

もういちど

〔目次〕

第一部——坂本さちよ

手記 仔山羊の歌 もういちど

あの十一月三日前後のこと

ふり返るあの頃、あの時

息子一家をどうか救ってください

16

日記 怒りと悲しみ 涙の三六五日

平成元年十一月二十三日～平成二年十一月五日

平成元年十一月二十三日(木) 龍ぼうの靴のこと

平成二年一月一日(月) 紺のブレザーを着た堤の夢

平成二年二月二十四日(土) 都子さんの好きな料理を作る

平成二年七月十日(火) 主人、事故で倒れる

平成二年十一月一日(木) 一年目の全国集会

74

第二部——神奈川新聞社会部取材班

“真相”坂本堤弁護士事件追跡ドキュメント

第一章 発生、そして一年

第二章 検証

第三章 坂本弁護士一家の素顔

第四章 弁護士坂本像

第五章 民主主義の危機

第三部

事実調査報告書

救出活動報告書（その一）

呼びかけ

坂本弁護士と家族を救う全国弁護士の会事務局長 影山秀人
日本弁護士連合会会長 中坊公平



横須賀の自宅にて

第一部

手記

仔山羊の歌 もういちど

日記

怒りと悲しみ 涙の三六五日

坂本さちよ